

ゴまがみ

広報

平成7年



シンボルマーク

9.15 No.839

人口と世帯

9月1日現在 () 内は前回比、男23,831(+26) 女26,384(+50) 計50,215(+76) 世帯17,195(+25)



市老人クラブ連合会が主催する第二十一回老人スポーツ大会が八月三十一日、市民体育館で行われ三十六のクラブチームが参加し、五百人のお年寄りがさわやかな汗を流しました。競技種目には、玉はこび、絵合わせ、風船割り、四十メートル競走などがあり、選手達は各競技に熱戦をくりひろげ、最後に五所川原甚句を全員で踊り、楽しい雰囲気の中に大会を終了しました。

「負けて
いられません」
勝利への執念



五所川原市名誉市民決定!

8月22日(火)、五所川原市名誉市民推薦委員会(川村恒儀委員長)に候補者の諮問を行い答申を得、9月1日(金)の市議会第4回定例会において、医師の増田桓一氏、画家の伊藤正規氏を名誉市民とすることが承認されました。

名誉市民の称号は、市民又は当市に縁故の深い方で、広く社会の発展及び文化の興隆に貢献し、その功績が著しく、市民から深く尊敬されている方に贈るものです。

贈呈式は、10月2日(月)にホテルサンルート・五所川原で行われます。

伊藤 正規 氏



出身
五所川原市梅田

生年月日
明治45年2月16日
(83歳)

氏は一時、農業で身をたてるべく決意しましたが、絵画への夢断ち切り難く、一念発起、上京しました。東京美術学校(現東京芸術大学)に入学し、苦学力行して首席で卒業、画家としての第一歩を踏み出すこととなりました。

我が国洋画界の先達、渋谷栄太郎画伯と藤島武二画伯に師事した氏は、持ち前の粘り強さから天賦の才をいかんなく発揮し、とりわけデッサンの確かさでは、関係者の注目を浴びることとなりました。

昭和32年、日展入選後、その写実的な作風に一層磨きがかかり、昭和45年の日展出品作品「風景」は、最高の栄誉である特選に輝くこととなりました。市では昭和47年、文化褒賞を贈りその栄を称えましたが、昭和55年には県褒賞受賞の栄にも浴しています。

増田 桓一 氏



出身
五所川原市新町

生年月日
明治42年7月10日
(86歳)

氏は昭和8年、東北帝国大学医学部卒業後、仙台の国立傷痍軍人宮城療養所に勤務。昭和14年「肝外胆道ガンの研究」により博士号を授与され、先代の増田病院長である父貢氏が病気のため、昭和19年に五所川原に戻り増田病院を継ぎました。

増田病院長として診察に当たった氏は、学問的に知られていない病気に多くの農民が苦しめられているのを知り、当時津軽地方農村の風土病として医学的な治療法が解明されず、結核とともに不治の病とまでいわれた「シビ・ガッチャキ」の病原研究に診療のあい間をみてもは没頭しました。そしてついにそれが栄養障害からくるものであることを究明。

氏のこうした功績が認められ、昭和25年「第3回東奥賞」、昭和28年「第6回日本ビタミンB学会長尾賞」の栄誉を受けられました。



◎養護老人ホームくるみ園へ
○木造町粕谷組(十六名) 〓
慰問(歌と踊り)。
○(株)五所川原中央青果(木村
登吉代表取締役社長) 〓寄
贈(西瓜十個、メロン二十
個)。

◎五所川原市社会福祉協議会へ
○青森県歌謡連合会(神唯一
会長) 〓二万円。
○五所川原歌の親和会(奈良
一雄会長) 〓一万八千五百
二十五円。
○みどり町四丁目子供会 〓八
千五百二十円。

善意の花かこ

— どうもありがとうございます —

自慢の腹芸 へっちょよ 踊り

八月二十七日、「豊稷、つがる平野へっちょよまつり」のイベントとして、へっちょ踊りパレードが行われました。約百五十人の参加者は、お腹にさまざまな似顔絵を描き、音楽にあわせて踊りながら行進していました。沿道に詰めかけた大勢の観客は太めのお腹が作り出すユーモラスな表情に笑い声とともに盛んな声援をおくっていました。



パレード終了後のへっちょ踊りコンテストには、十一組が出場し、賞金十万円の大賞はみちのく銀行五所川原支店チームが、賞金五万円の優秀賞は五所川原商業高校相撲部Bチームが獲得しました。

立派な校舎で 記念式典



飯詰小学校(児童百四十四人)

で八月二十六日、新校舎落成記念式典が行われました。同校は平成五年の火災で校舎を焼失して、工事費十億八千五百万円をかけて新築工事(鉄筋コンクリート造二階建て延床面積約三千九百六十平方メートル)が施工され、本年三月に体育館の完成をもって全ての建物の工事が終了してしました。この間、児童たちは分散授業やプレハブ校舎での授業など不便な環境で学習していました。児童会長の渋谷香那さんは「立派な校舎ができて本当にうれしい。これからもみんなで学校を大切にしていきたい」と元気良く述べてくれました。

目指すは 五所川原 ブランド

近い将来、市の活性化に大きく貢献すると期待される「五所川原地場産業振興プラザ」の設立総会が八月三十日、レストラン藤吉郎で開催されました。同プラザは、地場産業の抱えている課題について相互に必要な情報の提供を図り、全国に展開できる足腰の強い地場産業の振興に努め、もって雇用の確保拡大と産業構造の質的高度化に寄与することを目的とし、全国に通用する「五所川原ブランド」の確立を目指す地元製造業者四十五人が会員となって発足しました。

総会では規約制定後、役員を選出が行われ、会長に春藤正輝氏が、副会長に竹鼻文子さんと川村肇氏が選ばれました。また研修指導、研究開発、需要開拓情報収集の四部会も設置されました。今後は青森職業能力開発短期大学校を活用して技術開発に取り組む他、地場産品をPRするため情報誌を発行するなど多くの事業を積極的に展開することになっています。



なお、地場産業振興プラザでは会員を募集しています。申し込み先 市商工振興課
☎(35)二二一一(内線二五九)

短歌

五所川原短歌会

剪定終え松のすがしき吾が技を
尽くせし昼に微笑み見上ぐ
大久保勘三

原爆もその他の武器も為政者の
思惟より出て未来に及ぶ
小笠原俊亮

パイロット目指す中卒の一人孫
航空生の試験に合格
北川要二郎

亡き夫の年を越したるわれの焚
く迎火赤し燃えあがりるる
開米 藤枝

大雨はつやめく樵の太木を伝ひ
て滝のごとく流るる
野呂三枝子

雑然と卓に置かれしビー玉の西
陽に透きて七いろ放つ
下山 チエ

夏空にもくもくと湧く入道雲を
大き達磨と孫は指さす
山形 礼子

疎開地に嬰兒背負ひて敗戦の空
あふぎし半世紀まえ
番場 允映

夕映の風にゆられて右左重たき
稲穂はこちよく垂る
斉藤 由雄

採りたての蜆を持ちて姑の甥な
る人が尋ね来たれり
下山 サト

核廃絶の祈りとどけよ日本の被
爆記念日まつりにあらず
関 喜代栄

ゴミ減量化懇談会・報告

主婦よりもカラスが知っている収集日

平成六年度に市民が出したゴミの総量は三万一千トンです。十五年前の昭和五十五年度のゴミの総量は二万二千トンでしたので、約四十一%増になっています。そして一世帯あたりのゴミ処理経費は当時の二万五百円に比べ平成六年度は四万七千円と約二・三倍になりました。年々増え続けるゴミと、その処理経費。今後、いかにゴミを減らしていくかが大きな課題です。さらに、市民のマナーが低下してきたのでしょうか、このごろ収集日以外に、市内のあちこちのゴミ収集場所にゴミが置かれ、散らかっていました。いつたい、だが……。

ゴミを出すマナーや、ゴミ減量化に対する考えを互いに話し合ったための、懇談会では、皆さんから次のような意見・提言が集まりました。

一、最も困っていること

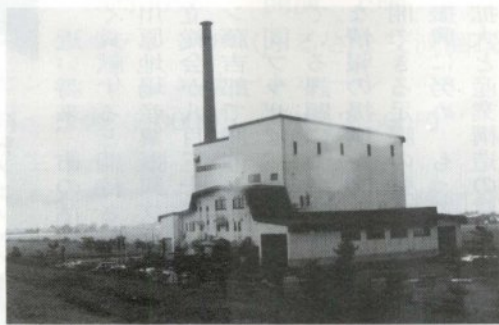
- ①他の町内または他町村の人が、私たちのゴミ集積所にゴミを捨てに来ている。
- ②町内会に入らない人、さらに連絡のとれないアパート住民の中には指定日、指定時間以外にゴミを捨てている。
- ③全体的に燃えるゴミ、燃えないゴミの分別がなされていない。

二、最も多かった意見

- ①ゴミのうち半分は生ゴミです。生ゴミを家庭で処理(堆肥化)できるコンポストを

市で斡旋してほしい。

- ②子供もできる街の美化運動の推進として空缶鳥を設置してほしい。
- 三、最も多く要望されたこと
 - ①透明のゴミ袋にしたらゴミが半減したという事例がある。五所川原も透明で名前の書くゴミ袋にすべきではないか。
- 四、リサイクルについての提言
 - ①一部の大型店や商店ではトレイを回収し、金券と交換している。これを一般の食料品店にも普及させてほしい。



西北五衛生処理組合
西郡衛生センター

懇談会場では、それぞれの立場からゴミ処理への苦労や苦心が話され、高い関心があることを感じました。そして多くの意見や提言に共通するところは、「私たちがきれいにしていかなければならない」という心は誰もがもっているということです。

飯詰地区の方から「部落で一坪位のゴミ集積所をつくったが始末に困ったゴミも出されるので、(自分で処理してください)という張り紙をしたら、その後なくなつた」という意見がありました。

また川端町からは「ゴミを捨てない運動より、街をきれいにしようという運動の方が効果的ではないか」という提言もありました。環境をきれいにしていると誰もゴミを捨てなくなってくる、という信念と信頼が大事と話しています。

また、「捨てられているゴミ袋をみて、名前と住所を確認し、そこにゴミを届けている。不法投棄に対する処分はないのか。(川端町)」「ゴミ集積所に監視人を置くのではありませんか。(飯詰地区)」と地区、町内会のリーダーの大変なご苦勞を感じま

不法投棄

(川端町)



した。そして皆さんから、私たちに与えられた大きな課題は、「(ゴミ減量化のために)透明のゴミ袋に名前を書いて出すことが必要だ。(松島地区)」さらに長橋地区の部落からは「私たちの部落ではゴミ袋に名前を書くことにしている。」「市役所が透明で名前の書くゴミ袋にするといえ、みんな守るのではないか。(七和地区)」「まず、ゴミ袋を透明にすることから始めるべきでないか。(北部地区)」中心市街地からは「やる気はあるのか。市役所はもっと自信をもつてやるべきだ」と叱咤、激励された懇談会であったと思

っております。
 たくさんのご意見、提言をもとに、私たちはゴミ減量化のため次のことを検討しています。

●ゴミ減量化作戦 パート①
ゴミ減量化に関する
懇談会の開催

七月に開催致しました「ゴミ減量化懇談会」には、三百六名（十五地区）の方々にご参加いただきました。その際、「もっと細かく懇談会を開けないか。（栄地区）」という要望もあり、十月に第二回の懇談会を開催する計画です。

要望のありました「もっと細かい懇談会の開催」は各町内、地区、団体が自主的に開かれる会議、集会の案内をいただき説明させていただくことにしたいと考えています。ぜひご連絡を願います。

●ゴミ減量化作戦 パート②
コンポスト（生ゴミ
堆肥化容器）の斡旋

コンポストについては、平成四年に市民の皆さんより要望も

あり四百六十個斡旋（単価五千三百五十六円／百九十ℓ）させていただきました。この度の懇談会でもたくさんの方の要望がありましたので、今そのメーカーと価格の交渉をしています。斡旋価格がまともになりしだい広報に掲載し注文をいただくことにしています。

●ゴミ減量化作戦 パート③
空缶鳥の設置



市役所に設置してあります空缶鳥は非常に好評で、たくさんの方々に利用（千五百缶／日）されています。各所に設置することも設置場所が管理ができるか。また、リサイクル商品としてのストック場所も必要となります。このことを検討致します。皆さんと再度ご相談したいと考えています。

空缶鳥で回収した
アルミ缶



●ゴミ減量化作戦 パート④
資源ゴミ回収
補助のPR

団体が、新聞、雑誌、ダンボール、ビン等の資源ゴミを回収し、リサイクルされた場合その回収量に応じ、1kgあたり二円の補助金を出しています。平成六年度では二十七団体二百四十七ℓ回収しています。団体は主に子供会が中心となっています。物を大切にすることを育てるためにも、このような団体をさらに育成していきたいと考えています。

●ゴミ減量化作戦 パート⑤
フリーマーケットの開催

「街をきれいな環境にする運動」を支援する実行委員会を平成六年に組織し「家族フリーマーケット」を開催してきました。参加料の二千円は美化運動の支援金とさせていただきます。



収集日以外に出している「III」

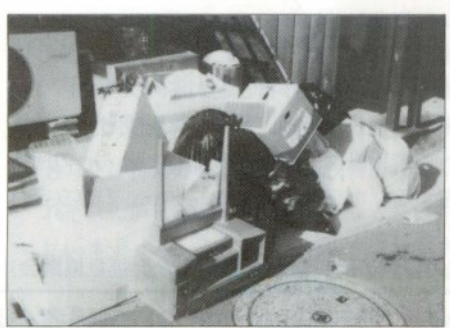
●ゴミ減量化作戦 パート⑥
ゴミ減量化審議会、推進員の設置とゴミ総合計画書の策定（名称は仮称）

本年度中にゴミ減量化審議会を組織し、さらに地区、町内単

位にゴミ減量化推進員を設置することを計画しています。併せてゴミ減量化懇談会からの提言、またゴミ減量化審議会や推進員から意見をいただきながらゴミ総合計画書を策定いたします。

●ゴミ減量化作戦 パート⑦
ゴミ袋指定の推進

七月の懇談会では「記名を義務づけた透明のゴミ袋」の指定が強く皆さんから要望されています。私たちも皆さんの期待に応えるためどのような方式をとつたらよいか検討し、十月に開催されるゴミ減量化懇談会に提案したいと考えています。



様にはご協力をいただき誠にありがとうございます。また、第2回目の当委員会は、これまでの総括として来年2月25日(日)に中央公民館で開催する予定であります。この件については後日市広報にてご案内いたします。

(事務局～企画財政部企画調整課)

第3回 施設見学会

「A暮らし・考えるコース」を実施します

見て触れてふるさと新発見、市内にあるいろいろな施設を市民の皆さんに見学していただきます。

今回の見学会は、第1回と同じコースとなります。今回は多数の応募者があり、36番目以降の方はお断りさせていただきました。今回も先着順となりますので申し込みは、お早目をお願いします。

▶見学施設 漆川工業団地(誘致企業)、飯詰浄水場、農業センター、フラワーセンター(曲水の館)、野里ゴミ処理場、水道事業所、浄化センター、老人ホーム、地域福祉センター

▶日程 9月28日(木) 9時30分集合出発

▶集合場所 市役所正面玄関

▶対象 一般市民の方

▶募集人員 35名(定員になり次第、締め切りさせていただきます)

▶費用 500円(昼食代です)

▶応募方法 電話でお申し込みください。住所、氏名、年齢、職業、電話番号をお知らせください。

▶申し込み先 市総務課 内線325へ

▶応募締め切り 9月21日(木)

※第4回施設見学会「B憩う・学ぶコース」は10月末に予定しています。

九月一日に行われた
第二回施設見学会での参加者達



歴史民俗資料館



青森職業能力開発短期大学校

にぎわいの街500人委員会 経過報告

提言内容について、次に主な事例をご紹介します。

福祉部会 ボランティア活動を育てる委員会

提言内容【1】

ボランティア活動の窓口について

例.(1)町内会にボランティアの窓口を設置し、社会福祉協議会と町内会の関係を密にして活動を活性化させたらどうか。

(2)ボランティアという奉仕の精神は誰もが心にあるが、発揮する場やきっかけがない。そこで自分の地域の呼びかけ等を率先して行うリーダーが必要である。また広報等でボランティア活動の機運を盛り上げ世論を高めればよい。

現在の取り組み状況等

地域福祉の担い手づくりの一環として、社会福祉協議会においてボランティア活動に参加しようとする方々への情報提供と、ボランティア活動を求めるニーズの把握作業を積極的に進め、集約された内容の広報等を行い、ボランティア活動の発掘と援助の機能強化を図っていきます。

(事業内容等の問い合わせ先～市社会福祉協議会)

提言内容【2】

要望について

例.(1)市の福祉基金制度があるので、もっと利用してほしい。

(2)各種総会等が開催されても手話通訳者が派遣されない。県内8市の中でも4月に設置される黒石市を除くと、当市のみが設置されておらず大きな遅れを感じる。健常者と同様に常に情報不足とならないよう手話通訳者の養成・設置を要望する。

(3)ボランティア活動の中核機関を設置し、年数回情報交換会を開催してボランティアの質を高めたい。社会福祉協議会が中心となり情報を提供する役割を果たしてもらいたい。

現在の取り組み状況等

市では平成3年度より「地域福祉基金」を積み立てし、その利子をボランティア活動や住民参加による先駆的な福祉事業の運営等に活用してもらうこととしています。社会福祉協議会が「地域福祉基金」の具体的な活用や福祉に関する住民活動に必要な指導や支援を行うこととなり市民の方々のご理解とご協力並びに積極的な参加をお願いします。

活動を維持し発展させるためには会員の確保及び団体同志の横のつながりを作ることが不可欠です。今後はボランティアのPR活動、サービスを受ける人や提供する人への情報提供、活動に参加したい人への団体の紹介等をする「ボランティアセンター」の確立を目指します。

(事業内容等の問い合わせ先～市社会福祉協議会)

今回をもって終了となります。関係者の皆

特別障害者手当の 申請をしてください

(随時、受け付けしています)

■ 特別障害者手当

対象者	障害の程度
1. 20歳以上で日常生活に常時特別の介護を要する右記の在宅重度障害者。 2. 障害基礎年金等、障害を事由とする年金の受給者であっても対象になります。 3. 身体障害者療養施設等に入所している場合及び病院等に3ヵ月以上継続入院している場合は受給できません。	日常生活に常時特別の介護を要する重度障害者とは国民年金法施行令別表1級程度の障害が重複するもの又は同程度以上と認められるもの。
手当額及び支払月	支給の制限
1. 手当額は月額26,230円 2. 支払月は2月、5月、8月及び11月の4期にそれぞれの前月分までを支払います。	本人及び本人の配偶者もしくは扶養義務者の前年の所得が政令で定める額を超えるときは、手当の支給が停止されます。

■ 障害児福祉手当

対象者	障害の程度
1. 20歳未満で、精神又は身体に障害があり、日常生活において常時介護を要する右記の在宅障害児 2. 肢体不自由児施設等に入所している場合及び障害を支給事由とする年金を受給している場合に対象となりません。	日常生活において常時介護を要する障害児とは身体障害者手帳1級程度(2級の一部を含む)の障害又は特別児童扶養手当1級、愛護手帳「A」程度の障害のうち最重度の障害と認められるもの。
手当額及び支払月	支給の制限
1. 手当額は月額14,270円 2. 支払月は2月、5月、8月及び11月の4期にそれぞれの前月分までを支払います。	本人及び本人の配偶者もしくは扶養義務者の前年の所得が政令で定める額を超えるときは、手当の支給が停止されます。

▶ 問い合わせ 市福祉事務所 (内線 371番)

お知らせ

犬の登録・狂犬病予防注射を実施します

市では、今年度最後の犬の集合登録・狂犬病予防注射を実施します。

狂犬病予防法により、飼い主には犬の登録と年一度の予防注射が義務づけられています。まだお済みでない方は必ず実施して下さるようお願いいたします。

- 注射を受けさせる犬は、清潔にしてください。
- 健康状態に疑問がある場合は、受付へ申し出てください。
- 犬に関する変更(引っ越し・死亡など)の際は保健環境課へ届けてください。(電話でも可・内線269)



料金

登録料	2,200円
注射料	2,830円
合計	5,030円

※恐れ入りますが、釣銭のないようご協力願います。

犬の登録・予防注射実施日程表

月日	時間	場所
10月3日 (火)	9:00~9:30	コミュニティセンター三好前
	9:50~10:20	コミュニティセンター中川前
	10:40~11:10	コミュニティセンター毘沙門・長富前
	11:30~12:00	コミュニティセンター飯詰前
10月4日 (水)	13:00~13:30	コミュニティセンター松島前
	9:00~9:30	コミュニティセンター七和前
	9:50~10:20	コミュニティセンター長橋前
	10:40~11:10	コミュニティセンター梅沢前
10月5日 (木)	12:30~13:30	コミュニティセンター栄前
	13:50~14:20	富士見コミュニティセンター前
	9:00~9:30	旧市民文化会館前
	9:40~10:10	しきしまコミュニティセンター前
	10:20~10:50	五所川原保健所前
	11:10~11:40	鎌谷町防災センター前
	13:00~13:30	松島町松島会館前

「わ・五所川原会」からの お知らせ

東京など、首都圏在住の市出身者の親睦交流を図るため下記により総会ならびに懇親会を開催いたします。ご親戚やご子息など参加を希望される方はご連絡ください。

▷とき 10月7日(土) 午後5時30分

▷ところ 銀座レストラン高松本店(東京都内) ☎03-3546-8181

▷会費 7千円(年会費2千円含む)

▷申し込み 9月22日(金)までに市総務課 ☎内線 325へ

国民年金

現況届を忘れずに

年金を受けている方は、引き続き年金を受ける権利があるかどうかを確認するために、毎年一回「現況届」を提出しなければなりません。

現況届の用紙(ハガキ)は、誕生月の初め頃に社会保険庁から送られてきます。

これに住所・氏名を記入、押印のうえ、住所地の市町村役場で証明を受けてください。

提出先は社会保険庁ですので、直接送付してください。

提出期限は、誕生月の末日です。期限までに提出されないと、年金の支払いが一時ストップしてしまいますので、注意してください。

ただし、年金を受けてから1年を経過していない人や、年金が全額支給停止になっている人については、現況届の提出は必要ありません。

もし、誕生月の初めになっても現況届の用紙が送られてこなかったり、なくしたとき、汚してしまったときは、最寄りの社会保険事務所で用紙をもらってください。

※ 送られてきた現況届に「提出先は住所地の市町村」とある人は、住所地の市町村へ提出してください。

秋の全国交通安全運動

▶実施期間 9月21日(木)から30日(土)まで

▶運動の重点 ①高齢者の交通事故防止

②シートベルト着用の徹底

▶期間スローガン

～カチッとベルト キチッとルール～

～無理しない 用心深さも 年の功～

五所川原市交通安全対策協議会
五所川原警察署

五所川原市コミュニティカレッジ (地域振興大学) 講座開設

平成7年度のコミュニティカレッジを開講します。ご参加ください。

▶とき 10月21日から12月16日までの毎土曜日 9日間(午後2時から5時まで)

▶ところ 青森職業能力開発短期大学校(飯詰)

▶対象者 市内に住所を有する人(社会人) 又は市内に勤務する人

▶募集人員 20人(定員になり次第締め切ります。)

▶締め切り 9月28日(木)

▶受講料 2,600円(テキスト代)

▶申し込み先 教育委員会生涯学習課 ☎35-2111 内線250

▶講座内容 データベースソフト「桐」を使いパソコンを操作する。

回次	月日	講座内容
		開講式
1	10月21日(土)	<桐の基礎知識、起動と終了編> ・桐の起動、終了 ・操作方法 <表の定義および検索・選択編> ・表の定義とデータ入力
2	10月28日(土)	<表の定義および検索・選択編> ・表の再定義 ・整列 ・レコードの検索 ・レコードの選択
3	11月4日(土)	<表計算・結合・併合編> ・表計算機能 ・支出帳と表計算 ・残高表
4	11月11日(土)	<表計算・結合・併合編> ・出納簿 ・結合
5	11月18日(土)	<帳票定義編> ・帳票定義 ・帳票再定義 ・表形式帳票の定義
6	11月25日(土)	<帳票定義編> ・画面伝票帳票の定義 ・タックシール帳票の定義 ・伝票形式帳票の定義
7	12月2日(土)	<グラフ編> ・データのグラフ表示 ・いろいろな表のグラフ例
8	12月9日(土)	<印刷編> ・一覧表印刷 ・帳票印刷 ・その他の印刷
9	12月16日(土)	<履歴ファイルと一括処理> ・履歴 ・一括処理の実行例
		閉講式

きのこ採りの遭難をなくそう

例年、9月に入ると、県内各地の野山は「きのこ採り」で賑わいをみせますが、これに伴って、山で迷ったり崖から転落するなど遭難事故が後を断ちません。

そこで楽しい「きのこ採り」にするため、次の五つの点に注意しましょう。

- 家族や同僚にコースや帰宅時間を知らせておき、山に行くときは、山の色と正反対の目立つ色の服装をするとともに、笛やラジオを持参(熊による被害予防・遭難防止等)し、お互いの居場所を確かめあいましょう。
- 自分の体力にあった無理のない計画を立てるとともに、天気予報をよく確かめ、天候が悪くなりそうなときは早くきりあげましょう。
- 秋の山は、昼と夜の気温差が大きいことから、万一のためにライターやマッチなど、たき火ができる準備をして山に入りましょう。
- 迷ったときはあわてて無理に歩き回らず、小枝を燃やすなどして救助隊を待ちましょう。
- 帰宅予定時間になっても戻らないときは家族や同僚だけで捜そうとしないで、早めに警察へ通報しましょう。

第6回

五所川原武道演武祭

五所川原武道協議会では、日頃の稽古の成果を市民の皆さんにご覧いただくために次のとおり演武祭を開催します。

今年は、太極拳が特別参加します。

お気軽にお出でください。

- ▶とき 平成7年10月10日(体育の日)
9時30分から
- ▶ところ 五所川原市民体育館
- ▶主催 五所川原武道協議会(柔道会、剣道協会、弓道会、銃剣道協会、空手道協会、少林寺拳法協会、相撲協会)

第15回

オガワ<モダンバレエ>スタジオ 定期発表会

- ▶とき 9月24日(日) 14時開演
- ▶ところ ふるさと交流圏民センター
小ホール
- ▶入場料 無料

平成8年度

青森県農業大学校

〈普通科〉入校案内

1. 教育の目的	農業に関する短期大学程度の専門的な知識と技術を修得させ、農業経営の改善と農家生活の向上に貢献する農業技術指導者を養成する。
2. 修業期間	2か年
3. 募集人員	約35名
4. 受験資格	(1) 学校教育法による高等学校を卒業した者又は平成8年3月31日までに卒業する見込みの者 (2) 上記と同等以上の学力を有すると知事が認めた者
5. 試験の期日及び場所	(1) 期日及び時間 期日：平成8年2月14日(水)及び同年2月15日(木)の2日間 時間：2月14日 〈受付〉8：30～9：10 〈筆記試験〉9：30～16：00 2月15日 〈受付〉8：30～9：20 〈面接試験〉9：30～16：00 (2) 場所 青森県黒石市境松一丁目1番地 青森県農業大学校
6. 試験科目	(1) 筆記試験 国語Ⅰ、数学Ⅰ、英語Ⅰ、理科Ⅰ又は農業一般、現代社会の5科目。 ただし、理科Ⅰと農業一般はいずれかを選択するものとする。 (2) 面接試験
7. 出願書類	受験を希望する者は、定められた期日までに以下の書類を提出すること。 (1) 入校願書(本校所定のもの、写真貼付) (2) 履歴書(本校所定のもの、学歴は高校から記入) (3) 身上書(本校所定のもの) (4) 最終出身学校の卒業証明書又は卒業見込み証明書 (5) 最終出身学校の成績を証明する調査書 (6) 健康診断書(国公立の病院若しくは診療所又は保健所の発行した出願前3か月以内のもの) (7) 戸籍抄本(出願前3か月以内のもの) (8) 選択科目申告書(本校所定のもの) (9) 受験票(本校所定のもの、写真貼付) (10) 受験票送付用封筒(長さ23.5cm、幅12cmの定形封筒に宛て先を明記し、430円切手を貼付) * 入校願書及び受験票に貼付する写真は、出願前3か月以内に撮影した無帽、正面、上半身のもので、4.5cm×4.5cmのサイズとする。
8. 入校願書の受付期間及び提出先	(1) 受付期間 平成8年1月16日(火)から同年1月31日(水)まで(郵送の場合は、1月31日の消印まで有効) (2) 提出先 〒036-03 青森県黒石市境松一丁目1番地 青森県農業大学校
9. 合格者の発表	平成8年2月22日(木)9時、農業大学校玄関に合格者の氏名を掲示する。
10. その他	(1) 入校願書等本校所定の用紙について郵送を希望する場合は、切手190円分を同封して本校教務課まで申し込むこと。 (2) その他不明な点がある時は、本校教務課に問い合わせること。 ☎0172-52-4315
備考	授業料は無料。ただし、教材費、実習等の実費については、入校時に別途申し受ける。(参考：平成7年度普通科1年納入額271,000円)

演題「ゴミとのおつきあい」の 講演会に参加しませんか

- ▶とき 9月30日(土) 13時30分から
- ▶ところ コミュニティセンター栄
(保育室有り)
- ▶講師 戸舘昭吉氏(七戸町出身)
 - ・現在、知的障害者更生施設 あぜりあ
苑園長
 - ・かつて、生ゴミを肥料にし、生産化に
成功した方
- ▶会費 200円(但し、保育料200円加算)
- ▶申し込み・締め切り 9月25日(月)
- ▶主催 椿の会(食物と環境を考える会)
- ▶問い合わせ先 葛西彩子 ☎34-8296
後藤しみ ☎34-8798

羽田 健太郎 トーク&コンサート

- ▶とき 10月4日(水)
会場 18時30分 開演 19時
- ▶ところ オルテンシア(ふるさと交流圏民
センター)コンサートホール
- ▶入場料 S席 3,000円 A席 2,500円
学生 1,000円
- ▶主催 ふるさと交流圏民センター事務組合
☎0173-33-2111

募 集

働く婦人の家生活講座 受講生募集

- 1) 藍染め教室
～生葉でハンカチを染めてみませんか～
期日 10月2日(月)、10月3日(火)
時間 9時～12時
講師 菊地睦子先生
 - 2) お茶のマナー教室
～煎茶の美味しい入れ方とマナーを学ぶ～
期日 10月5日、10月12日、10月19日
時間 18時30分～20時30分
講師 小野ゆき先生
- 1)～2)の共通要点
- ◇受講資格 市内に住所又は職場を有する方
 - ◇受講料 無料(但し材料費は各自負担)
 - ◇募集人数 各20人
 - ◇申し込み・問い合わせ
新町 働く婦人の家 ☎35-8898

催 し

第6回 ごしょがわら牧場 収穫グルメまつり

- ▶とき 9月23日(土) 秋分の日
開会式 10時
- ▶ところ 毘沙門牧場広場、新農業センター
(イベント)
- イモ掘りコーナー
- とうもろこしグルメ
ゆで、焼きとうもろこしの試食
- 五所川原牛焼肉グルメ
牛肉 300g、野菜のセットで1,000円です。
炭火焼の用意をしております。
- にじますのつかみどり
無料：ただし、中学生までの参加



*ほかに、まと当てゲーム、牛の体重当てクイズ、野菜・花の即売、農業センター施設の参観など。※津鉄毘沙門停留所～会場間送迎バスがありますのでご利用ください。

- ▶問い合わせ 広域新農業センター
☎37-2104
- *農業センターでの栗ひろい(300円/kg、1人2kgまで)は10月10日まで行っております。

親子で“トライ”

親子が一緒に交通問題にトライ、考えるイベントが開かれます。

- ▶参加者 親(免許所持者) 子供(小学生)
親子を一組として50組(先着順)
- ▶内容 親は自動車、子供は自転車による実地試験。学科試験は親子共通問題。実地と学科の合計点で、上位者を表彰し、豪華賞品を贈呈、参加者全員に参加賞をプレゼントします。
- ▶とき 10月1日(日) 午後1時
- ▶ところ 五所川原中央自動車学校
- ▶主催 五所川原地区安全運転管理事業主会
五所川原地区安全運転管理者協会
- ▶申し込み 五所川原警察署交通課 ☎35-2141
及び各駐在所、市総合サービス課
内線282、R A B 五所川原支局 ☎35-1382



市で実施している、
 がん検診を利用している

**野呂秀雄さん (62歳)
 の場合**

藻川字村崎626の1



野呂さんは、平成3年の肺がん検診で精密検査が必要となり、病院で検査したが異常がなかった。次の年、再び精密検査が必要といわれ「去年も病院で検査しても異常なかったのに……」と思い少しためらった。しかし、半年はたっていると考え受診したところ、手術をすることになった。その当時は、「これから、どうなるのかなあ」と不安だったが、今考えると『運がよかったんだべな』と検診を受けてから手術までを振り返る。

現在は、仕事も退職し田畑の仕事も人にまかせ、老後の不安も多少かかえながら、毎日をゆっくり過ごしている。

野呂さんの健康法は？と尋ねると『特別なことは、してないなあ。ただ、物事をくよくよ考えない性格で、何かあっても受けとめることができる』こと『市内に住む孫が遊びに来た時どうやって喜ばせようとする楽しみがある』ことを穏やかな口調で話してくれた。

自分の健康を守るためには、年2回、面倒でも検診を受けるようになったとのことでした。

— 9月は、ガン制圧月間です。 —

10月の保健センター相談日

毎日の生活の中で、育児や健康面でお悩みの方、保健婦・看護婦・栄養士がお待ちし、ゆったりとした気分で相談がうけられます。

種別	開催日	内容
母と子の相談日	第1・第3(水) 10月4日・18日 10:00~12:00 13:00~15:00 (第3の午後は予約相談です)	乳児・幼児の発達相談・育児の相談・お母さんの悩みごと相談など
成人の相談日	第2・第4(水) 10月11日・25日 10:00~12:00 13:00~15:00 (第4の午後は予約相談です)	血圧の相談、食事の相談、心身でご心配なことなど

※予約相談の連絡は保健環境課(内線 268)へ

全国「半島と岬の詩」募集

▶応募内容・資格

半島と岬の「きらめき」を表現してください。また、できるだけ個別の半島名(例:下北半島、津軽半島)または、岬名(例:室戸岬等)がイメージできる内容であれば、年齢・性別を問わずどなたでも応募できます。

▶応募方法

- ①詩の内容・形態は自由です。
 但し、未発表のもので一人一作品とします
- ②規格は400字詰め原稿用紙3枚まで
- ③原稿の最終頁裏面に、下記をご記入ください
 - Ⓐどこの半島、岬かお書きください
 - Ⓑ住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号
 - Ⓒテーマ及び内容に対する簡単なコメントを添えてください。

▶応募先

〒035 むつ郵便局 私書箱22号
 全国「半島と岬の詩」募集実行委員会事務局

▶発表

- ①3月下旬/発表並びに表彰を行います
 入選作品は冊子にまとめます
- ②入選作品においてはその著作権は、全国「半島と岬の詩」募集実行委員会に属するものとします

▶賞

- 特選 宗左近賞、吉幾三賞など 4編(賞金10万円と賞状)
- 特別賞 国土庁長官賞など 6編(賞金5万円と賞状)
- 特別賞 各半島協議会(期成会)長賞 19編
- 佳作 171編

※応募先着500名様に記念品贈呈

▶お問い合わせ 全国「半島と岬の詩」募集
 実行委員会事務局 ☎0175-22-4482

妊婦さん大集合

参加者募集!

- ▶とき 10月12日(木) 午前10時~午後1時
- ▶ところ 働く婦人の家・市保健センター
- ▶対象 妊婦さん及び家族
- ▶内容 ディスカッション、調理実習
- ▶募集人員 20名
- ▶料金 無料
- ▶持参するもの 母子健康手帳、筆記用具、エプロン
- ▶申し込み締め切り 9月29日(金)
- ▶申し込み先 保健環境課(内線268・272)



身も心もさっぱりする 健康相談室へどうぞ

保健婦が相談に応じています

- ▶ **対象** 市内にお住まいの方で、ご自身又はご家族の健康のことで心配されている方
- ▶ **内容** 血圧相談、病気の相談、心の相談、健康についての話
- ▶ **持参するもの** 健康手帳（お持ちの方）

場 所	月 日	時 間	はなしのテーマと時間
旭町集会所	9月25日 (月)	10:30~ 12:00	心臓病から身を守る知恵 (11:30~12:00)
七和農協	9月27日 (水)	11:00~ 13:00	「更年期かな…と思っ たら~自己を知って予 防法を知る」 (10:00~10:30)
南新集会所	9月28日 (木)	12:30~ 13:30	「更年期かな…と思っ たら~自己を知って予 防法を知る」 (13:10~13:30)
桜田集会所	9月29日 (金)	10:30~ 12:00	膝の痛みをとる~関節を 強くするくらしの工夫~ (11:30~12:00)
福 社 会 館	10月2日 (月)	10:00~ 11:30	“はっ”とするほど大 事な歯~80歳まで20本 歯を残そう~ (10:00~10:20)
元町集会所	10月4日 (水)	10:00~ 12:00	知って得する薬の正し い使い方 (11:00~12:00)
コミュニ ティセン ター 中 川	10月6日 (金)	10:30~ 12:00	膝の痛みをとる~関節を 強くするくらしの工夫~ (11:30~12:00)

訂正とお詫びをいたします

8月15日号、9月1日号に掲載された永田小児科内科医院の麻疹、風疹、三種混合ワクチン接種の受付時間を午後1時30分から5時30分までと訂正し、午後だけの受け付けとなりましたことをお知らせいたします。

但し、木曜日と土曜日の午後は休診となります。

すくすく健診

- ▶ **場所** 働く婦人の家・市保健センター
- ▶ **受付時間** 12時30分から12時45分
- ▶ **持参するもの** 母子健康手帳、バスタオル

◎3歳児には個人通知します。

◎3歳児健診の場合は同封のアンケートを記入しお持ちください。尿検査がありますので、尿を小ビンに入れて持ってくるると便利です。

- ※**お願い** ①4ヵ月児健診に來れなかった方は、神経芽細胞腫（小児がん）の検査セットを、母子健康手帳を持参のうえ保健環境課窓口にもらいにきてください。
- ②病気療養中（特に伝染性の病気）の子どもさんはご遠慮ください。病気療養中や体調のよくない子どもさんは翌月の健診を受けることができますのでご連絡ください。

月 齢	対 象 児	期 日	主 な 内 容
4ヵ月児	平成7年 5月生まれ	10月17日 (火)	小児科診察、神経 芽細胞腫セット配布 育児情報交換等
6ヵ月児	平成7年 3月生まれ	10月31日 (火)	離乳食の試食 発達相談等 保護者(母)と子の 歯科診察及び歯科 保健指導
1歳児	平成6年 9月生まれ	10月23日 (月)	育児情報交換 発達相談等
1歳 6ヵ月児	平成6年 4月生まれ	10月24日 (火)	小児科・歯科診察 歯科保健指導 発達相談等
3歳児	平成4年 4月生まれ	10月19日 (木)	小児科・歯科診察 尿検査、視聴覚検 査、発達相談等

※乳幼児の発達や育児、悩みごとは、保健センター“母と子の相談日（第1・3水曜日）”もご利用ください。

献血のご案内

期 日	時 間	場 所
9月25日 (月)	10:00から 15:00まで	津軽東芝音響株式会社敷地内
10月2日 (月)	10:00から 10:50まで	藻川 大川商店前 (赤十字奉仕団三好分団協賛)
	11:00から 12:00まで	五所川原市農協 三好支所前 (赤十字奉仕団三好分団協賛)
	13:30から 15:00まで	N T T 五所川原支店前

献血をしてくださった方には、肝臓・腎臓などの内臓機能の働きを調べる血液検査を行い、後日結果をお知らせします。